

# Update3&4&5 for Mastercam 2024

メンテナンス日付について  
Update 3&4&5 のインストール  
Update 5 の修正項目  
Update 4 の修正項目  
Update 3 の修正項目

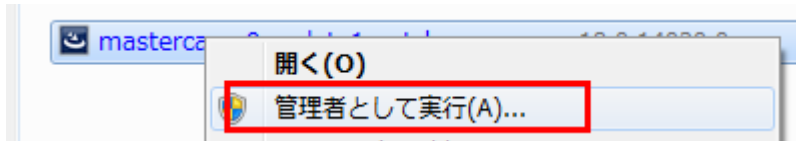
## メンテナンス日付について

Mastercam 2024 Update3&4 に必要なメンテナンス日付は 2023/9/30 です。  
Mastercam 2024 Update5 に必要なメンテナンス日付は 2023/11/30 です。

## Update 3&4&5 のインストール

※Mastercam 2024 Update2 (初期リリースバージョン)/ Update3/Update4/ Update5 の順番でインストールしてください。

Update のインストールファイルを右クリックして表示されるメニューから「**管理者として実行**」を選択してインストールを開始し、画面の指示に従ってインストールしてください。



バージョンの確認：

「ファイル/ヘルプ」→右側の製品情報の「**Mastercam について**」

表示されるバージョン：(Update5 インストール後)

Mastercam 26.0.7977.0



| バージョン番号一覧 |              |
|-----------|--------------|
| Update2   | 26.0.7384.0. |
| Update3   | 26.0.7730.0. |
| Update4   | 26.0.7819.0. |
| Update5   | 26.0.7977.0. |

## Update 5 の修正項目

- 持ち替え位置調整後にツールパスのソリッドチェーンがなくなる

- ハイブリッドオペレーションがインポートできない
- 工具アセンブリに割り当てられた工具突き出しの値が不正に変わることがある
- 工具アセンブリで工具突き出し値が編集されることがある
- コントロール定義のパスワードが正しく保存されない
- 削除後、ポストプロセッサのファイルがコントロール定義に残る
- 3rd パーティ (Chook) オペレーションに不正な警告が発生し、失敗することがある
- スワープ Mill 加工オペレーションで領域間の接続変更時にクラッシュする
- 5 軸へ変換に不正なストラテジーオプションが表示される
- Z 深さを自動的に定義を使用すると長さ固定を認識しない
- 再生成が必要なソリッドを再生成してもそのままの場合がある
- パーツファイル保存後、PK22 エラーが発生し、ソリッド要素とツールパスが削除されることがある
- モデル編集／プッシュプル使用時に PK22 エラーが発生することがある
- ソリッドを含むパーツファイルが壊れることがある
- シミュレーション実行後に Mastercam がたびたびクラッシュする
- シミュレーションで工具ホルダの突き出しが正確に表示されない
- シミュレーションでタレットパーク位置角度が正確に表示されない
- ワーク平面変形移動でワーク上書きが変わる
- API 経由でオペレーションリストを取得時に手動オペレーションが検出されると失敗する

## Update 4 の修正項目

- すべて再チェイン時にジオメトリが非表示になり負のレイヤーに移動する
- Code Expert に例外が発生し、シンタックスのハイライトが失われる

## Update 3 の修正項目

- 端面取り付け複合ヘッドロケータの工具角度が不正
- スクリプトコードを含む加工指示が同一の言語で表示されない
- スプラインのパラメタで **Raster to Vector** がフリーズしてしまうものがある
- API Combine View が同一 Z 軸上の平行な円弧を不正に結合してしまう
- API でソリッドジオメトリを変形移動するとツールパスの関連性が壊れる
- 部分ソリッドチェインが不正に作成される
- プロセスホールのテンプレートファイルをインポートすると不使用工具がインポートされる
- Inventor 2024, ACIS 2023 1.0, Unigraphics/NX2212, Catia V5-6R2023, ProE/Creo 10 サポート
- Mastercam 2024 で開けない STEP ファイルがある
- 異なる NC ファイル名の組み合わせと変形移動オペレーションで加工指示を作成するとクラッシュする
- 点でトリム、長さ修正コマンドを終了すると、変更が維持されない
- トリムコマンド後に他のコマンドが使えなくなる
- 工具ライブラリパフォーマンスの改善
- 従来のサーフェス仕上げペンシルオペレーションの再生成時間が予測より長い
- 加工指示でサークルミル補正タイプ、方向、ロールが出力されない
- エリア荒取り干渉チェックで軸方向の干渉が検出されない
- 従来のファイルのエリア荒取りオペレーションが再生成できない

- スロットミルプロファイルランプ進入動作が不正です
- 穴加工オペレーションで接続パラメタが保持されない
- スレッドミルツールパス再生成後、仕上げパスの回転と送りオーバーライドが元の値を上書きする
- すべて再チェーンで非表示レイヤーが表示される
- プロセスホールオペレーションをコピーすると、「ワーク再上面から深さを計算」オプションのチェックが外れ無効になる

株式会社 ゼネテック